



千曲川源流（2022/10/22）

秋の千曲川源流を訪れました。美しい紅葉の風景を満喫しつつ、落ち葉の絨毯を踏みしめながらの登山。

週末の毛木平駐車場は、県外ナンバーの車で満車。道中では老若男女の登山者とすれ違いました。

身近にある素晴らしい大自然。たまには足を運んでみるのはいかがでしょうか。

目次

- | | |
|---------------|--|
| 1 千曲川源流 | 6 ニューフェイス |
| 2/3 総合体育祭 | 7 鯀の眼
動物パトシリレー |
| 4 川上村の素顔 | 8 南佐久郡総合文化展
公民館の動き
戸籍の窓口
一喜一憂 |
| 5 公民館生涯学習教室一覧 | |

子どもから大人まで、気持ちのよい汗を流しました。

第2回

川上村
総合

体育祭

R4年11月3日

- 文化センター
- 村民体育館
- 村民グラウンド



「打って」「投げて」
「拾って」「走って」
みんながスポーツで交流し、
笑顔と歓声にあふれた一日。

農作業も一段落し始めた秋
空のもと、今年で第2回目とな
る川上村総合体育祭が感染対
策を取りながら開催されまし
た。昨年同様にソフトボール、
ソフトバレーボール、スマイルボ
ーリング、ボッチャの4種目が
行われました。

当日は大会スローガンの通
り、全世代で地域内外の人たち
と交流をは
かり、お互い
の親睦と人
とのつなが
り、絆を高
められた気
持ちのよい
一日となり
ました。



スマイルボーリング

全年代
男女

幅広い年齢層の参加者たちで、歓喜あふれるチームプレイを満喫しました！



参加者の声

● 久々にやったらなかなか難しかったけれどチームでピンを倒せて楽しかった！
● 他の参加者から刺激をたくさんいただきました。
● 初めての体験でしたが、みんなでワイワイ楽しめるよい競技だと思いました。
● ストライクが決まりました！ 凄く気持ちよかったです！ 参加してよかった！！

ソフトボール

40歳以上
男女

ホームランも！ファインプレーも炸裂！！
爽快な秋晴れのもと気持ちのよい汗を流しました！



参加者の声

● 畑以外で普段なかなかスポーツをする機会がないので、久々に体を動かさせて楽しかったです。
● ソフトボールはいろいろな年代の人たちと和気藹々と一緒に楽しめるのでよいと思いました。
● 1年ぶりのソフトボールだったけれど、みんなとよい雰囲気プレイできたので楽しかった。

ボッチャ

小学生
限定

子どもたちの集中したプレイに大人たちも夢中に！
笑顔と拍手が館内を包みこみました！



参加者の声

● 初めて出たけれど、難しかった。
● 同点になって、ジャンケンで負けちゃったから、もう1ラウンド、ボッチャで勝負がしたかった。
● 2回しか練習しなかったから、来年はもっと練習したい。
● 投げてくうちに、どんどんコツを掴めてじょうずになった気がする。
● 試合の間に、友達といっしょに遊べて楽しかった。
● 大人と対決してみたい。

ソフトバレーボール

女性
限定

アタック！ブロック！！観客も魅了させるプレーに
応援も手に汗握る展開に、みんなが白熱！！



参加者の声

● 普段なかなか関わらない人たちとバレーができて楽しかったです！
● コロナ禍で、人との関わりや運動する機会が減っていましたが、体を動かさせてリフレッシュできました。
【優勝チームの声】
優勝が近づくにつれ、試合しながら緊張さえ覚えましたが、チームワークがどんどん高まり、身体も徐々に動けるようになって、最後まで気持ちよく楽しめました！

総合順位

- ① 原
- ② 川端下
- ③ 御所平
- 4 秋山
- 5 梓山
- 6 居倉
- 7 大深山
- 8 樋沢

- ボッチャ
- ① 川端下
 - ② 原
 - ③ 秋山
 - 4 梓山
 - 5 樋沢
 - 6 大深山
 - 7 御所平
 - 8 居倉

- スマイルボーリング
- ① 川端下
 - ② 原
 - ③ 樋沢
 - 4 御所平
 - 5 大深山
 - 6 居倉
 - 7 秋山
 - 8 梓山

- ソフトバレーボール
- ① 原
 - ② 居倉
 - ③ 秋山
 - 4 御所平
 - 5 梓山
 - 6 樋沢
 - 7 大深山
 - 8 川端下

部門別順位

- ソフトボール
- ① 御所平
 - ② 梓山
 - ③ 大深山
 - 4 居倉
 - 5 川端下
 - 6 秋山
 - 7 原
 - 8 樋沢

川上村の素顔

第47回

園児の笑顔を運んでくださる、保育園バス運転手の有坂さん。昨今問題になっている園児のバス置き去り事故への対策、送迎の際の注意点などをうかがいました。



安全確認で園児を守ります

かわかみ保育園送迎バス運転手
有坂 忠臣 さん

プロフィール

小海タクシーにて運転手として勤続13年。小海リエックスホテルで、送迎バス運転手とゴルフ場の管理業務を15年。

前職を退職されたのち、今年8月からかわかみ保育園の送迎バス運転手に。週に数日、1時間かけ小海町から勤務されています。

かわかみ保育園バスの運転手さんになった、きっかけを教えてください。

前職を昨年12月末で退職し、余暇を持て余していたところ、川上観光タクシーの方に打診されたのがきっかけです。慣れたバスの運転の仕事なので引き受けました。

以前の小海町での運転との違い、気を付けていることはありますか？

どちらも農村の道で、それほど違いはないけれど、川上村は信号のない1本道で、車も少ないので、とても運転しやすいね。

しかし、夏の運転を経験してみて、スピードを出す長距離の大型トラックが多いと感じるので、そのあたりは特に注意して気を引き締めています。

小さな園児が大勢乗る保育園バス、通常のバスの運転とは違いがありますか？

急ブレーキ急発進をしないなど、当たり前の安全運転には、特に変わりはないかな。

保育園のバスでは、車内でたくさん聞こえる子どものおしゃべりが、大人の会話のようで、今時の子どもは賢いなあと思うながら聞いていますよ。

付き添いの先生がしっかりと見ていてくださるので、危ないこともなく、和やかで楽しいよ。

バス停等で、バスの乗り降りの際に、園児の動きでヒヤリとしたことはありますか？

どの子も、保護者の方がしっかりと手を繋いでいてくれ、乗り降りの際は必ず付き添いの先生がサポートしてくれるから、今までそういった危険は感じたことないね。みんなお兄さんで、ちゃんと言う事聞いて偉いと思うよ。これからは親御さんには、しっかりと手を繋いでもらって、安全な

乗り降りをしてもらいたいね。

ここ数年、園児をバスに置き去りにしてしまう事故が続きましたが、同じ送迎バス運転手として、思うことはありますか？また、普段どのような対策をしていますか？

絶対に起きてはいけな事故だと思う。やつぱり、毎回の点検確認は怠ってはいけないと思うよ。

かわかみ保育園では毎回、園児全員が降りた後に、運転手はひとつひとつの窓の施錠の確認とともに、必ず車内を歩いて点検をする。掃除もする

しね。

何より降車後に、引率の先生が隅々まで確認してくださるので、今までキーホルダーぐらいの小さい物でも、何ひとつ落とし物は見たことがないね。引き続き、確認作業を大事にしていきたいね。

これから冬道の運転が始まり、夏とは違う緊張感があるかと思いますが。

前職の小海リエックスでのスキー場までの送迎で、雪道山道の運転は慣れているけれど、川上村ではまだ経験がないからね。路面の凍結に注意するのはもちろんだけど、要所要所の危険箇所は、

付き添いの先生方に確認して早めに対策をしようと思っています。冬の道は、さらに安全運転を心がけたいね。

かわかみ保育園バスの運転手さんとしては、まだ日が浅い有坂さんですが、今までも、車の運転を仕事とされてきた、ベテランドライバーさんです。

運転中は、登下校中の小学生が手を振ってくれることも多く、そんな時は、車内の園児もとても喜ぶし、励みになる、とお話してくださいました。これからも安全運転、よろしく願います。



公民館生涯学習教室開催のお知らせ



令和4年度 公民館生涯学習教室一覧

	教室名	講師氏名
1	絵画	河越 八千代 先生
2	陶芸	赤堀 恒行 先生
3	書道	由井 康 先生
4	茶道	日向 小由紀 先生
5	裂織	重野 美知子 先生
6	着付	原 康美 先生
7	郷土の歴史	川上 村
8	デジタル写真	高橋 修悦 先生
9	フラ・ブルメリア川上	真次 トシ江 先生
10	フラダンス初級	真次 明美 先生
11	こどもジャズダンス	岩川 ミカ 先生
12	ゆったり美ヨガ	臼田 貴子 先生
13	健康体操	藤森 あづさ 先生
14	ノルディックウォーキング	川上 村
15	パン	日向 泰江 先生
16	そば打ち	油井 晴雄 先生
17	免疫力アップリンパ骨盤体操	菊池 喜美子 先生
18	からだほぐし	今井 加奈子 先生
19	カラオケ	篠原 芳治 先生
20	和裁・リメイク	篠原 千代子 先生
21	フラワーアレンジ	油井 奈緒美 先生
22	ダンスエクササイズ	菊池 喜美子 先生
23	大人のストレッチ	岩川 ミカ 先生
24	リズムダンス	SHIORI 先生
25	お菓子	油井 奈緒美 先生
26	新 スポーツトレーニング	川上 真弥 先生

令和4年度
4月～5月生まれの
赤ちゃんをご紹介

川上村の赤ちゃん

New Face
ニューフェイス

すくすく元気いっぱいな
赤ちゃんをご紹介!!



お姉ちゃん大好き♡

御所平 第2子

みお

由井 美桜 ちゃん

5月1日

(両親：将輝、聡美)

パパ、ママから一言

毎年 待ち焦がれて楽しみにしている桜のように 愛される人になってほしいという想いを込めて名付けました。



おしゃべり大好き!!

原 第2子

もか

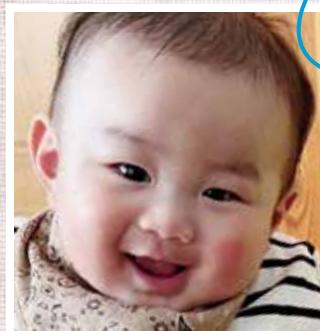
中島 苺花 ちゃん

4月11日

(両親：芳康、裕美)

パパ、ママから一言

お姉ちゃんが「もか」と名付けてくれました。
苺のようにかわいらしく みんなに愛される子になってほしいです。元気に産まれてくれてありがとう。
家族の天使だよ。



よろしくね☆

原 第1子

しゅう

渡邊 星 くん

5月29日

(両親：浩二、ひかり)

パパ、ママから一言

たくさんの人にかわいがってもらっています。毎日癒しをありがとうございます。健康に育ててください。



にこにこよく笑うよ!

居倉 第3子

あいり

伊藤 愛梨 ちゃん

5月16日

(両親：克弘、梨紗)

パパ、ママから一言

2人のお兄ちゃんの名前に使われている【想】【志】と同様に漢字の中に『心』のある【愛】の字を使って名付けました。
他人を思いやれる『心』のこもった人になってくれたらと思います。



お姉ちゃん、仲良くしてね!

川端下 第3子

そうま

遠藤 壮真 くん

5月23日

(両親：和秀、明音)

パパ、ママから一言

のんびり屋さんで優しく笑う壮真の笑顔にとっても癒されています。これからも元気に大きくなってね!



お姉ちゃんと遊ぶのが
楽しみです!

川端下 第2子

あおと

遠藤 碧人 くん

5月23日

(両親：和秀、明音)

パパ、ママから一言

いつもニコニコ笑う碧人に家族みんな元気を貰っています。これからも元気に大きくなってね!

「千曲川の少年」

千隈二郎
(投稿原稿)

千曲川沿いの、車の通らない細い道を散歩していると、時々出会う少年がいる。三月のある寒い夕暮れ、少年が青い魚網と白くて小さいポリバケツを提げてくるので「ちよつと見せて」と言いながらバケツの中を覗いたところ、なんと驚いたことにそこには鯀がいるではないか。十匹ほどのごく小さな鯀がバケツの中で元気に泳いでいる。三月の千曲川は凍える寒さだったろうと思う。感動の瞬間であった。

この川で最後に鯀を見たのはもう五十年も前のことである。その昔、私が少年だった頃は、夏休みともなると千曲川の浅瀬で鯀を獲るのが大きな楽しみだった。父さんが子ども用にと小ぶりの水面(すいめん)を作ってくれたので、それを持って勇んで川に行ったものだ。ヤスで突いて獲ったのであるが、台風が暴れて通り過ぎたあとなどはびっくりするほどの大漁で、多い時は大きなバケツ三つにあふれるほどもあった。さて、そうして時は流れ、川で遊

ぶこともなくなり、農業の影響などと言われ、鯀はまったくいなくなつたものと思ひ込んでいた。思ひ込んでいたことは他にもある。このごろ子どもたちは外で遊んだりせずに、きつと家の中でゲームでばかり遊んでいるにちがいないとも思っていた。けれど、少なくともこの少年を見る限りはそうとばかりも言えないようだ。

あれはいつだったろうか、もうすぐ「母の日」というそんな日だった。少年が小さなその手に何本かの野の花を握りしめ、真剣な顔つきで向こうからやって来るのに出会った。その様子はまるで物語の中から突然現れた一枚の絵のようで、一瞬夢でも見ているのかとぼうつとしてしまい、すれ違ったあともしばらくその後ろ姿を見ていた。その小さな野の花の束はお母さんに持って帰るのかな、それともコップに挿してどこかに置くのだろうか、と想像するだけでも顔がほころんでしまう。そのひとにぎりの花を目にしたもの



は誰だつて、きつと幸せなやさしい心持ちになり、思わず笑顔になるに違いない。そのささやかな幸せを心に、人は生きていけるんじゃないだろう。心の微量要素ともいえるその幸せが、いつか誰かにそつとバトンタッチされていきますように、と願わずにはいられない。

画面の中の仮想世界ではない、この村の野や山や川にその身をゆだねている少年の姿に、昔少年であった私はほつとするのであった。

動物バトンリレー

中島永則さん(大深山)

■ がりゅう(右)

■ ゆず(左)

子どもが小学生の頃拾ってきた兄妹です。

噛み付いたり、かじったりしなくて穏やかな猫で家族みんな癒されてます。





秀作

「花瓶」
由井 小百合



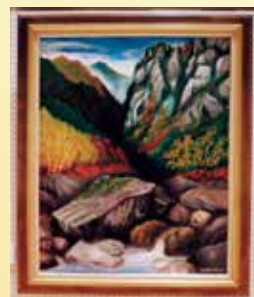
秀作

「宝石箱の夜」 林 一幸

南佐久郡 総合文化展

11月12、13日
於 茂来館

「溪流」
由井 良和



「諸葛孔明」
井上俊一



「夕焼け空が
真つ赤つか」
由井 明彦



「秋の夕日」
由井 晶

川上社協宅
老所だんらん



「近づく里の夜」
大西 たま子

公民館の動き

9月30日 分館長体育部長会議

10月2日 連合婦人会総会

10月14日 館報編集委員会

10月29日 少年少女球技大会

戸籍の窓口

七月一日～十月三十一日受付

お誕生おめでとうございます

由井 咲妃 さき 靖彦 靖彦

関 泰士 たいし 辰紀 辰紀

由井 真翔 まなと 彩人 彩人

由井 美唯菜 みいな 洋純 洋純

由井 要 かなめ 貴啓 貴啓

中島 颯来 そら 丈道 丈道

小原 司 居倉 居倉

阪上 愛心穂 岐阜県 岐阜県

小林 達樹 梓山 梓山

遠藤 つぶら 居倉 居倉

【お知らせ】
公民館長が交代となり、加藤明男が就任しました。

お悔やみ申し上げます

山川利夫 原 九〇歳

小原たつ江 居倉 八七歳

井出秀央 原 六六歳

高見澤長儀 梓山 八七歳

渡邊敏行 原 七一歳

小川豊 御所平九〇歳

古原みとし 居倉 九一歳

赤堀はつみ 居倉 九三歳

古原幸則 居倉 九七歳

新海七五三子 御所平八八歳

杉原一也 秋山 九二歳

藤原淳子 大深山七〇歳

原文彦 原 八一歳

由井富次郎 御所平八五歳

林小梅 秋山 八五歳

朝生正 居倉 九〇歳

遠藤とり子 原 八九歳

小金澤勇次郎 大深山九一歳

渡辺かめよ 原 九四歳

※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

【訂正とお詫び】

前号、お悔やみの欄で土屋武子さんの苗字が間違っていました。正確には土谷武子さんです。訂正とともにお詫びいたします。

一喜一憂

編集委員を務めていると、職業病とも言える症状があることに気がつく。校正する関係で、言葉遣いが気になってしまう。

代表的なのは、「見れる」「食べれる」などの「ら抜き言葉」。会話では日常的に使われがちだが文章にも浸食していて、字面になるとかなり気持ちが悪。まずチェックする点だ。個人的に気になるのは「やつぱ」という言葉。インタビューや対談などで聞くことが多いのだが、もちろん原稿では「やつぱり」と書き直す。すっかり定着した言葉ではあるが、「やつぱ」が出るだけで会話が軽くなってしまう気がする。テレビなどで難しい話をしていたコメンテーターが「やつぱ」を口に出すと、繕っていた仮面が剥がれたようだがっかりしてしまう。

SNSやメールなどで文章を打つ機会が多くなり、口語をそのまま文字にするのが当たり前になっている。言葉の変化とはそういうものかもしれないが、せめて場面に合わせて美しい日本語を使いたいものだ。だって気持ちがいいから。

編集長 K

【村勢】

総面積 209.61km²
世帯数 1,198戸

総人口 3,589人
男 1,858人
女 1,731人

(10月31日現在)